

AT&T と TMS、シンガポールの日本企業の支援で提携

シンガポール発—AT&T シンガポールは本日、情報技術を活用したソリューションの有力プロバイダーである Toppan Management Systems Singapore Pte., Ltd (TMS)と、シンガポールに拠点を置く日本企業のネットワーク・ニーズを支援するため提携したと発表しました。TMSはこの提携に基づき AT&T と共に、ネットワーク・ニーズを持つ日本企業に、一層充実した IT およびネットワーク・ソリューションを提供する事ができます。

両社の知識と専門技術の組み合わせにより、シンガポールにある 1,400 以上の日本企業は、ネットワーキングおよびシステム・インテグレーションのソリューションを利用でき、通信効率を向上させ競争力を強化する事が可能になります。

TMS の Director of Sales の飯塚 徹氏は、次のように述べています。

「この度の共同マーケティング活動において AT&T との提携は双方にとって大きなメリットをもたらす WIN-WIN の関係を築くものです。当社のお客様も含め、TMS、AT&T の三者がすべてこの提携から利益を享受する事になります。TMS は、企業向けにコンサルティング、ソフトウェア設計、ハードウェア販売など、システム・デザインとインテグレーションを専門に手がけています。しかしながら、複数の拠点で事業を進めているために高度なデータ・ネットワークの要望を抱えているお客様も多くおられます。そこに、AT&T が加わる意味があります。当社はこの地で AT&T と長年にわたり良好な関係を築いてきており、グローバルかつエリアごとに対応できるネットワーク・サービス・プロバイダーは、AT&T をおいて他にはありません。」

AT&T はアジア太平洋の 13 の地域に拠点を置き、とりわけ日本とシンガポールでは積極的にビジネスを展開しています。AT&T が提供する総合的なネットワーク・ソリューションには、コネクティビティ・サービス、マネージド・サービス、コンサルティング、そしてアウトソーシング・サービスなどがあります。

AT&T アジア・パシフィック アセアン総支配人のチュウ・ホック・ライ(Choo Hock Lye)は次のように語っています。

「当社のシンガポールでの事業にとって、TMS は新しい重要なパートナーとなります。TMS の持つ日本企業との力強い関係とその IT ニーズに対する理解、それに当社のネットワーク・ソリューションにおける専門知識とグローバルな展開との組み合わせは、

シンガポールにおける日系企業に対し強力な支援となります。混迷を続ける通信業界ですが、お客様は統合性、安定性、信頼性、および高品質を備えたサービス・プロバイダーを求めています。AT&T は、アジア太平洋地域において 30 年以上事業を展開してきました。他の通信企業が撤退していく中で、当社は発展と投資を続けています。今年度、AT&T はお客様へさらに優れたサービスを提供するため、当社のグローバル・ネットワークに総計 3 億ドルを投じています。」

TMS と AT&T は 8 月 20 日、シンガポール日本人会 2 階ボールルームに於いて、日本企業に向けたセミナーを日本語で開催します。ここで両社の共同マーケティング活動や、お客様へのメリットなどについて説明が行われます。また同セミナーでは、AT&T および TMS によるプレゼンテーションだけでなく、IBM シンガポールやアジア松下電器などのお客様の事例なども紹介されます。詳細については、<http://www.jp.att.com/jbcseminar/>で参照下さい。

###

Toppan Management Systems (TMS)について

シンガポールにおける日本の銀行へのソフトウェア・ソリューション提供のために 1985 年に設立。現在は、高品質で、複数言語の適応が可能な製品や IT 技術を通じて、さまざまな範囲の IT ソリューションを提供し、日本企業の成長を支援する事を使命として活動しています。長年に亘る経験から TMS は継続してインテグレーションのための新製品や技術動向を探り、顧客企業のコミュニケーション強化や生産性の向上に寄与しています。

TMS は東証一部上場の凸版印刷株式会社（本社；東京都千代田区）が全額出資して設立した、日本のトッパンマルチソフト(Toppan MultiSoft)の全額出資企業。

AT&T Singapore について

AT&T Singapore は、高品質のデータ通信およびネットワーク・サービスをシンガポール市場に提供することに取り組んでいます。AT&T はシンガポールにおいて、ネットワークコンサルティング、設計と導入、マネージド・セキュリティ・サービス、マネージド・データ・ネットワーク・サービス、フレームリレー、マルチプロトコル・ネットワーク・コネクティビティ・サービス、マネージド VPN、グローバル・ローミングを備えたリモート・ダイアルアップ・アクセス、およびネットワーク・アウトソーシング・サービスなどのサービスを提供しています。

AT&T Asia/Pacific について

香港に本社を構え、13ヶ国でビジネスを展開している AT&T Asia/Pacific (www.ap.att.com) は、この地域で高い知名度を有しています。同社は政府、企業、消費者に対し、音声、データ、オンラインなどの高度な通信サービスを提供しています。日本の AT&T グローバル・サービス株式会社 (AGNS) に対し、NTT コミュニケーションズは 15% の出資をしています。AT&T は UNISITI のブランド名でサービスを提供する上海信天通信有限公司の株式を 25% 取得しています。上海信天通信有限公司は、中国初の外国企業による通信合弁会社であり、上海市電信公司および上海市信息投資股份有限公司と AT&T との合弁会社です。

以上は「将来予測に関する記載」であり、AT&T 経営陣の確信、将来に関する多くの仮定条件、および経営陣が現在入手できる情報に基づいています。読者は、こうした将来予測に関する記載に過度の信頼を寄せることのないよう注意すべきであり、その内容は業績を保障するものではなく、多くが AT&T の制御を越える多数の不確定要素やその他の要因に左右され、その結果、実際の業績がそうした記載とは大幅に異なったものになる可能性があります。実際の業績を予測と異なるものにする可能性のある要因についてのより詳しい説明については、証券取引委員会 (Security Exchange Commission) への AT&T の提出書類をご参照ください。AT&T は、将来予測に関するいかなる記載も、新情報、将来の出来事、またはその他によるものであれ、それを更新し、または見直す意図または義務を有しません。本情報は AT&T の業績をより深く理解していただくための情報を提供するという目的でのみ提示されます。